

地域内の回遊性向上と渋滞解消のためのモビリティを活用したパーク&ライド事業【香川県三豊市】

四国では高松空港を起点にレンタカーを利用する訪日客が増加しており、近年、観光スポット周辺での交通渋滞が深刻化している。特に、日本のウユニ塩湖と呼ばれる「父母ヶ浜」がインスタグラム等で人気となった香川県三豊市では、父母ヶ浜へのレンタカーでの来訪が集中しており、他の観光スポットに比べ交通渋滞が深刻化していることに加え、周辺観光地への回遊性向上、旅行消費拡大が課題である。

本事業では、レンタカーとオンデマンド型交通・シェアバイクなど複数のモビリティを組み合わせたパーク&ライドによる渋滞解消と消費拡大を実証し、将来的な観光地型MaaSと持続可能な観光の実現に向けた課題の洗い出しを行う。

事業実施地域における背景・課題

【広域的背景】 高松空港やJR高松駅から目的地である「父母ヶ浜」への交通や経路検索の手段が脆弱なことから、レンタカー等で直接目的地へ向かう旅行者が増加し、観光地周辺での交通渋滞が発生している。

【地域的課題】 インスタグラム等で人気を集めた「父母ヶ浜」は、撮影目的の観光客が急増し交通渋滞が深刻化する一方、滞在時間が短く、周辺観光スポットへの回遊も少なく、旅行消費の増加に結び付いていない。

効果検証・事業評価

「取組概要」①～④の実施により以下のことが検証された。

① 地域内交通機関やスポット情報の整備

- 市内12路線を運行するコミュニティバスの検索は2つの検索エンジンにのみ対応しており、GTFS化に加えオープンデータ化の検討が望まれる。
- 調査対象施設の54%(n=159)がWEB情報を発信。SEO対策に課題があり講習会を通じてGoogleマイビジネス等を活用した対応を周知した。

② デマンド運行バスによる回遊性向上

- デマンド運行バスとWEBサイト情報(実験環境)の相乗効果による回遊性の向上を確認し、利用者の93%(n=86)が再度利用したい意向を示す。
- 費用対効果の面で、当面は観光情報とコミュニティバスのセットで利便性を向上させ、将来的にデマンド型交通導入の検討が望ましい。

③ シェアバイク設置による回遊性向上

- 近隣エリアの回遊性向上に効果が見られ、駐車場での乗用車とのパーク&ライドによる渋滞緩和効果も期待。複数地点の設置検討が望まれる。

④ 将来的な観光地型MaaS等に関する課題

- 三豊エリアを、父母ヶ浜に来訪する旅行者の二次的回遊エリアと位置づけ、「観光需要喚起型MaaS」的発想で、情報と交通の相乗効果から回遊創造を検討。
- 結節点までの乗車券と域内サブスク型乗車券のセット等の検討が必要。

次年度以降の取組

【事業実施地域での今後の取組】

- 抽出した課題に対し、交通関係や受入環境整備の補助金等を活用し必要な対策に取組む。

【ブロック内の他の地域での今後の取組】

- 本実証事業を参考に地域の特性に合った交通の整備に繋げていく。

事業概要

【事業主体】 四国運輸局、三豊市、三豊市観光交流局

【事業実施期間】 令和2年8月～令和3年3月

【取組概要】 地域課題であるA:回遊性向上、B:旅行消費拡大(※)、C:交通渋滞解消に向けて、①～③の環境を構築し、10～12月に国内在住外国人86名をモニターとして起用、GPS動態調査及びアンケート調査により効果を検証する。

① 地域内交通機関やスポット等に関するWEB上の情報の整備【令和2年8～9月】

- 地域内公共交通の経路検索を可能にすることで、高松空港に到着した外国人旅行者が公共交通を利用してストレスなく地域を訪れる環境を構築する。
- 観光地や飲食店、ゲストハウス等の正確な情報をWEB上に掲載する。情報掲載を促進するため、Googleマイビジネスの関係者向け講習会を3回開催する。

② 地域内(広域)の回遊性向上【令和2年10～12月】

- スマートフォンで予約できるデマンド運行バス2台を広域エリアに導入し、外国人対応が可能なスポットを駐車場所に設定し、回遊性の向上を検証する。

③ 地域内(父母ヶ浜近隣)の回遊性向上【令和2年10～12月】

- 父母ヶ浜から1km離れた場所にスマートフォンで予約できるシェアバイクを設置し乗用車やデマンド運行バスとパーク&ライドできる仕組みを作ることが、近隣観光地への回遊性向上と渋滞緩和に繋がることを検証する。

④ 観光地型MaaS検討会【令和2年11～3年3月】

上記①～③の結果をもとに3回の検討会を行い、将来的観光地型MaaSと持続可能な観光の実現に向けた課題を洗い出す。

※本事業では、回遊性向上≒旅行消費拡大とみなす。

